

ライブラリー 通信

LIBRARY NEWS

TOHOKU UNIVERSITY OF ART & DESIGN
LIBRARY NEWS

発行:東北芸術工科大学図書館

tel. 023-627-2044

fax 023-627-2085

mail : library@aga.tuad.ac.jp

平成24年10月1日 No.42

2012. autumn

[秋晴れ読書号]

幸せのスケール

美術館大学センター准教授 和田菜穂子

「あなたは今、幸せですか？」
幸せかどうかを決めるのは他人ではなく自分である。幸福感の捉え方はそれぞれ異なる。「幸せの尺度」について考え始めたのは、拙書『北欧モダンハウス 建築家が愛した自邸と別荘』（学芸出版社、2012年）を書き終えてからのことであった。

「世界幸福地図」によれば、デンマークは世界ランキング1位の幸福国（2006年）である。これはイギリス・レスター大学の社会心理学者エイドリアン・ホワイトによって作成されたもので、幸福度は健康、富、教育等によって計測される。1位のデンマークを筆頭に、フィンランド（6位）、スウェーデン（7位）、ノルウェー（19位）など北欧が上位を占めている。さて我が国、日本はどうであろうか。なんと90位という結果である。これは一体、何を意味しているのだろうか。豊かさを数値化する指標のひとつに、国民総生産GNP（Gross National Products）が挙げられる。しかしこれは「物質的な豊かさ」を示すものであり、「精神的な豊かさ」は先に挙げた「国民総幸福量」GNH（Gross National Happiness）をトップ化した「世界幸福地図」で読み解くことができる。もともとは1976年にブータン国王が「国民総幸福量は国民総生産よりも重要である」と提唱したのがきっかけで出来た概念で、その根底にはチベット仏教の「利他心」という価値観があった。ブータンでは「心の豊かさ」に重点を置いた政策を30年続けた結果、年7%前後の高度経済成長を遂げ、今では国民の約97%が「幸せ」と感じている。

では現代の日本はどうであろうか？日本は戦後の高度経済成長によって、「物質的な豊かさ」を手に入れた。しかしその後、経済性が必ずしも「心の豊かさ」をもたらすものではないと気付いた人も多い。先進国が幸福度ランキングの低位にいることがそのこと端的に物語っている。では「心の豊かさ」は何によって計られるのだろうか。

ここで幸福な国デンマークの生活に触れてみたい。彼らの生活は至ってシンプルである。家族と過ごす時間と空間を大切に。会社帰りに同僚と飲みに行くことはほとんどない。残業、休日出勤がないため、仕事を終えたらまっすぐ自宅に戻り、家族とともに夕食をとる。週末は親しい友人を招いてホームパーティが行われる。誕生日には、高価なプレゼント、レストランでの豪華な食事は不要である。愛する家族や親しい友人が集まりさえすれば、充分幸せなのである。

デンマークは冬になると、うつ病患者、アルコール依存症などが増加する。これは北欧独特の地理的条件からきており、冬の日照時間の少なさと無関係ではない。暗く陰鬱とした冬に「クリスマスビール」というアルコール度数の高いビールが登場するのも少しも明るい気分にするための発案であろう。彼らが一番自分らしく振舞えるのは、家族とともに過ごす住宅なのである。

著書『北欧モダンハウス』で紹介した建築家の自邸や別荘は、結婚や再婚がきっかけで出来た住宅が多い。新しい家庭を作るにはまず家づくりからスタートしている。意外なことにデンマークでは離婚率が高い（世界9

位、2007）。それは家族との時間を大切にしているからこそ決断であろう。「無理をしない」「自分に正直に生きる」という国民性である。一方、日本人は「見栄を張る」「世間体を気にする」など、他人の目を気にする傾向が強い。それゆえ自分を偽り、自分らしさを見失っているのではないだろうか。

それではストレスが増すばかりで、幸福感の獲得から遠ざかってしまう。「自分らしく生きる」という姿勢こそ、「真の幸福」に繋がらないだろうか。

2011年に第一生命経済研究所が行った日本人の「幸福度調査」では、40代の男性が最も低く55点（10点満点中）、その後年齢を重ねるごとに上がり、80代で800点に。一方、女性は30代から50代まではほぼ横ばいだが、60代の73点をピークに下がっている。幸せの判断基準は「自分の理想との比較」(35%)が最多で、「他人や世間との比較」(21%)が続いた。

ブータンにおける「国民総幸福量」の判断基準は、「環境保護」「文化の推進」などの4本柱と「コミュニティ」「良い統治」「自分の時間の使い方」などの9つ構成要素から成り立っている。「家族は互いに助け合っているか」といった質問項目をみると、幸福を図る尺度そのものが日本と異なっていることに気が付く。

「あなたは自分らしく生きていますか？」
もう一度、自分自身に問いかけてみよう。



「ビブリオバトル首都決戦2012 地区予選会 in 東北芸術工科大学」を開催しました

日時：8月25日(土) 12:00~13:30、7月29日(日) 14:30~16:00/場所：文芸学科演習室(図書館2階) 主催：文芸学科と図書館の共催

7月のオープンキャンパスに併せて、ビブリオバトル首都決戦2012への出場を目指し、「地区予選会」が開催されました。今回は、オープンキャンパスに訪れた高校生と保護者の方もオーディエンスとして参加、バトラー(書評者)の面々にも気合が入ります。バトラーも自分の発表時以外はオーディエンスとなり、積極的な質疑応答が展開されました。小説が多かったため、バトラーはいかに「ネタバレ」せずに醍醐味を伝えるか、または、「あらすじ」のなかでどこをメインに伝えるか、帯や著名人の推薦の言葉などを織り交ぜながらオーディエンスの関心を惹きつける熱い闘いとなりました。

高校生、保護者の方々からは、ビブリオバトルについて「楽しかった」「読んでみたい本の対象が広がった」などの感想を頂きました。ビブリオバトルで書評された本は図書館の蔵書となっています。今回参加できなかった皆さんもどうぞお読みください。

第3回目の地区予選会は9月26日(水)に開催されました。この結果については、10月6日(土)の「山形・新潟地区決戦」の様子とともに次号でご紹介いたします。

地区予選会1, 2の結果(発表順)

2012年7月28日(土)		2012年7月29日(日)	
	910 ヤマグ 文庫		913.6 モリ
「日本語の古典(岩波新書)」 山口仲美著/岩波書店	書評者：高野優美さん	「すべてがFになる(講談社ノベルス)」 森博嗣著/講談社	書評者：佐藤 光さん
	913.6 サクラハ		913.6 ユモト 文庫
「砂糖菓子の弾丸は撃ちぬけない : a lollipop or a bullet」 桜庭一樹著/富士見書房	書評者：熊谷聡太さん	「ポプラの秋(新潮文庫)」 湯本香樹実著/新潮社	書評者：山田琴音さん
	913.6 イトウ		913.6 ツジム
「虐殺器官(ハヤカワ・SF・シリーズ)」 伊藤計劃著/早川書房	書評者：阿部崇史さん	「凍りのくじら(講談社ノベルス)」 辻村深月著/講談社	書評者：安齋詩央里さん
	726.6 BU		726.6 LI
★チャンプ 「いつもちこくのおとこのこ ジョン・ パトリック・ノーマン・マクヘネシー」 ジョン・バーニンガムさく; たにかわ しゅんたろうやく/あかね書房	書評者：大場竜之さん	☆次点 「ベツェッティーノ：じぶんをみつ けたぶぶんひんのはなし」 レオ=レオニ作; 谷川俊太郎訳/好学社	書評者：宍戸レオナさん
	913.6 シグレ		913.6 ハラダ 文庫
☆次点 「キノの旅：the beautiful world (電撃文庫)」 時雨沢恵一著/メディアワークス	書評者：阿毛尋也さん	★チャンプ 「十九、二十」 原田宗典著/朝日新聞社	書評者：安保裕耶さん
	913.6 モリ	「ビブリオバトル首都決戦大会」について 「ファイナル! 首都決戦2012」開催概要 日程 2012年10月21日(日) 場所 ベルサール秋葉原1F・B1F 主催 東京都、財団法人文字・活字文化推進機構 協力 ビブリオバトル普及委員会、読売新聞社 今後も継続して開催します。 皆さんの参加をお待ちしています!!	
「すべてがFになる(講談社ノベルス)」 森博嗣著/講談社	書評者：佐藤 光さん		

Information

ガレリア・ノルド／スタジオ144／図書企画展示

ガレリア・ノルド

●～10/13(土)

東北文化研究センター事務局

●10/15(月)～10/20(土)

「線、面で構成する空間インスタレーション」

(プロダクト3年／宍戸貴紀、日本画4年／九島優、日本画3年／大城龍馬)

●10/23(火)～10/27(土)

「あの子もわたしも」

(「りんごの木」グラフィック2年／佐藤有希、鈴木真琴)

※10/22(月)は蔵書整理作業日のため、午後1時からの開館となります。

●11/5(月)～11/10(土)

「A」

(版画3年／邊見朋子、プロダクト3年／平栗仙子、総合美術3年／佐藤詠美梨)

●11/12(月)～11/17(土)

「Une longue oreille」

(グラフィック2年／鈴木理香、柚かんな)

●11/19(月)～11/24(土)

「でこぼこ展」

(「でこぼこフレンズ」日本画2年／横井えり、美術史・文化財2年／及川葉月、総合美術2年／高力了生)

11/23(金)は休館です。

●11/26(月)～12/1(土)

「芸工大書道部展」

(「書道部」企画構想4年／佐藤史織、歴史遺産2年／藤井渉ほか)

●12/3(月)～12/15(土)

「大学院レビュー」

※12/3(月)は蔵書整理作業日のため、午後1時からの開館となります。

●12/17(月)～12/22(土)

「tolychoron」

(日本画3年／照井讓、大城龍馬)

スタジオ144

●10/1(月)～10/6(土)

「青歌展」

(日本画2年有志／萩原和奈可、須賀友佳 ほか)

●10/8(月)～10/13(土)

「なににん展」

(グラフィック4年 原高史ゼミ／金東玉、阿部由希ほか)

●10/15(月)～10/20(土)

「版画3年有志 起承転展」

(版画3年有志／大森弘之、平野有花ほか)

●10/25(木)～11/7(水)

「地域文化遺産と保存修復 ～文化財保存修復研究センター10年の取り組み～」

(文化財保存修復センター／大山龍顕研究員)

●11/12(月)～11/17(土)

「 $\frac{3}{8}$ 」

(洋画・版画・映像2年有志／田代文香、秋庭麻里ほか)

●11/19(月)～11/24(土)

「洋画4年による『夢うつし』」

(洋画4年／後藤奈津子、木崎真菜、高橋彩香)

11/23(金)は休館です。

●11/26(月)～12/1(土)

「どこかで鳴いているおとぎ箱」

(「どこかで鳴いているおとぎ箱」チーム 日本画3年／岸千恵美、グラフィック3年／但木美紀ほか)

●12/3(月)～12/15(土)

「大学院レビュー」

※12/3(月)は蔵書整理作業日のため、午後1時からの開館となります。

●12/20(木)～12/22(土)

「被災地域文化財資料等のレスキューと保存修復 ～東洋絵画保存修復ゼミの活動～(仮題)」

三浦ゼミで行った、石巻市の旧家所蔵の被災した額と屏風の保存と修復の報告展示です。

※21日(金)にスタジオ144内でシンポジウム開催予定

(美術史・文化財保存修復学科／

三浦功美子准教授)

施設利用について

2012年度後期のガレリア・ノルド、スタジオ144の利用スケジュールは、「NETBUS」または図書館のホームページ「図書館内のスタジオ／ギャラリー利用」<http://www.tuad.ac.jp/attachedinst/lib/>でご確認いただけます。

また、ガレリア・ノルド、スタジオ144での作品発表／鑑賞と合わせて、「新着図書コーナー」や手に取って眺めるだけでも楽しい「特設コーナー」、「企画展示コーナー」にもご注目ください。

企画展示コーナーでは、10月から「学

科教員のお薦めする図書」を展示します。

どうぞお楽しみください。

新着図書から

◆寄贈図書紹介

歴史遺産学科入間田宣夫教授、佐藤健治准教授をとおして、南陽市にお住まいの安達ツタ子様から山形県地域研究に重要な資料を多数ご恵贈いただきました。ここにその一部をご紹介します。いただいた資料は、主に東北文化研究センターの書架に配架されます。どうぞお役立て下さい。

●西山形郷土誌／西山形郷土誌編集委員会
「編」●熊野大社年中行事…宮内文化史資料別冊／北野猛著●蒲生田郷土史…明治百年記念／高橋与五郎編集代表●山形県南陽市地名索引／安達正巳「著」●熊野大社文化財写真帳●米沢沿革史大要／中村忠雄編●北条郷鉾山史話／今野竹蔵著●沖郷村史●むめのみち／平語園壺仙「著」●安達正巳編注●追善其影集／武田壺竹編●安達正巳編注●鳥海先生行状／源秀編●安達正巳編注●明のさくら／山口里仙「編」●安達正巳編注●蒼山発句集／長嶋蒼山「著」●安達正巳編注●恩のかぜ／安達正巳編注●若葉の梅…文台開／承風亭可柳編●安達正巳編注●すこし昔のくらし…吉野民俗風土記／南陽市吉野文化史研究会編●上郷郷土史(上巻)／上郷郷土史編纂委員会編●宮内方言集●米沢百科事典／サントリー企画米沢百科事典発行委員会編●大石田町誌／長井政太郎著●旧米沢市町名の由来／中村忠雄編●吉島誌／川西町吉島誌編集委員会編●平野村郷土誌／平野村郷土誌編集委員会編●長井遍照寺史／遍照寺史編纂委員会編●仙台風俗志／鈴木省三著●青木大輔、中山栄子編●米澤古誌類纂／「石田勘四郎編」●米沢の原始古代(遺物編)／手塚孝著●天童織田藩史／天童市史編さん委員会編●長井市年表／安部義一著●東根村郷土史／東根村郷土史刊行会編 ほか

カウンターから

利用者ポータルサイトのご案内

過去のライブラリー通信でもたびたび取り上げていますが、「利用者ポータルサイト」を使って、自分が過去に借りた本を探すことができます。この機能は、例えばカウンター前の「特設コーナー」や「新着図書」、「企画展示」の棚から気に入った本を見つけた時の記録をとっておくのにとっても便利です。

「利用者ポータルサイト」に馴染みのない学生さん、ここでご案内する機能のほかにも、自宅からでも「購入リクエスト」や「文献の取り寄せ」を申請するなど便利な機能があります。是非使い方をマスターして、芸工大図書館を大にお役立て下さい。

「特設コーナー」や「新着図書」、「企画展示」の本は一定期間を過ぎると、請求記号に従って「第一閲覧室」や「大型書架」、「文庫架」などその本の内容に応じた本棚に並びます。

このため、「特設コーナー」にあった時に立ち読みし気になったものの、後日借りようと思った時にはもう探せなくなっている…。こんなときは図書館のスタッフが相談に乗ります。「その本はいつ頃、どこで見ましたか?」「タイトル等覚えていませんか?」「色や大きさの特徴は?」などに答えて頂きながら一緒に本探しのお手伝いをいたします。実際このやりとりでお目当ての本を見つけることができた方も多いのではないのでしょうか。

でも、タイトルなんて気にせずに立ち読みしていることも多いはず。ましてや海外のアーティストの作品集などだったら…。また、イメージの共有は意外と難しく、スタッフも

「派手な表紙の本」「すぐくシンプルなお本」などの特徴だけから本を探すのは実は苦手です。その点、図書館システムにデータを残しておけば、曖昧だった記憶を鮮明に呼び戻すことができるのです。

では早速その方法をご案内します。

①「貸出手続き」をしてしまう。

何のことはない、学生証を提示して、貸出手続きを受けるだけ。すぐに返却してもOK。この「貸出」のデータが皆さんの利用履歴として保存され、自分が以前に何を借りたかを確かめることができます。

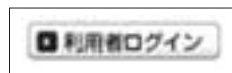
②「利用者ポータルサイト」にログインする

過去に借りた本を探すには、「利用者ポータルサイト」に接続します。「利用者ポータルサイト」には、NETBUSからログインする方法の他に、芸工大蔵書検索の画面からログインする方法があります。検索画面の左上にある「利用者ログイン」というボタンを探してください。小さなボタンです。

利用者ログインボタン

を押すと、ログイン画面が現れます。ログインIDには、NETBUS、WebMailで使用するメールのアドレスを、パスワードも同じくNETBUSで使用しているパスワードを入力してください。アドレスが長くても気にせず最後まで入力します。この時、メール

のアドレスは@マーク以下も必要になります。@マーク以下はログイン画面からコピー&ペーストするか直接手入力してください。



利用者ポータルサイトにログイン出来たら、左のメニューから、「貸出履歴」を選択します。貸出履歴は下の画面のように表示されます。初期設定で「表示件数 5件」、並び順が「指定なし」となっていますので、表示件数は「全件/ALL」を選択し、表示順を「貸出日」に切り替えます。こうすると、最近借りたものから一覧が表示されます。

貸出日	表示件数	表示順(貸出日)
2013/04/24	100	2
2013/04/24	200	2
2013/04/24	300	2
2013/04/24	400	2
2013/04/24	500	2
2013/04/24	600	2
2013/04/24	700	2
2013/04/24	800	2
2013/04/24	900	2
2013/04/24	1000	2

タイトルや貸出日などを頼りに一覧の中から見たいものを選び、「詳細表示」を開きます。「詳細表示」では、表紙イメージと「資料状況」(貸出中であれば、返却予定日が表示されます)、「配架場所」を確認できます。ポータルサイトの使い方や、その他わかりにくい点はスタッフにお問合わせください。